

Grand Design 2020

中期経営計画（2018-2020年度）

2018年5月8日
総合警備保障株式会社
（証券コード：2331）

1 GD2017（中期経営計画：2015-2017年度）の総括

2 経営環境とALSOKグループの対応

3 GD2020（中期経営計画：2018-2020年度）

■ **長期的な発展とGD2020の位置付け**

■ **GD2020の基本方針**

■ **財務目標**

■ **投資方針**

4 持続的な企業価値向上に向けた取り組み

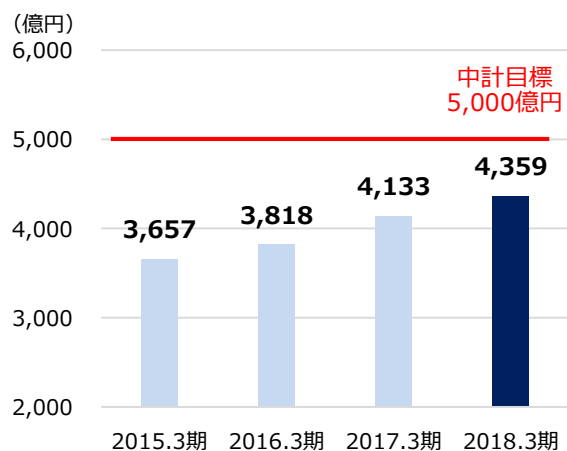
1 GD2017（中期経営計画：2015-2017年度）の総括

1. GD2017の総括

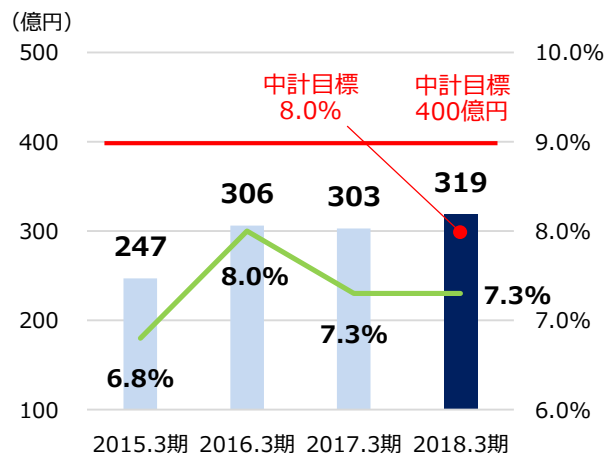
財務目標の達成状況

	目標値 (2015年5月発表)	実績 (2018年3月期)	2015年3月期 からの増減	目標値 との差異
連結売上高	5,000億円程度	4,359億円	+702億円	▲641億円
連結経常利益	400億円程度	319億円	+72億円	▲81億円
連結経常利益率	8.0%程度	7.3%	+0.5pt	▲0.7pt
ROE	10.0%程度	9.3%	+1.5pt	▲0.7pt

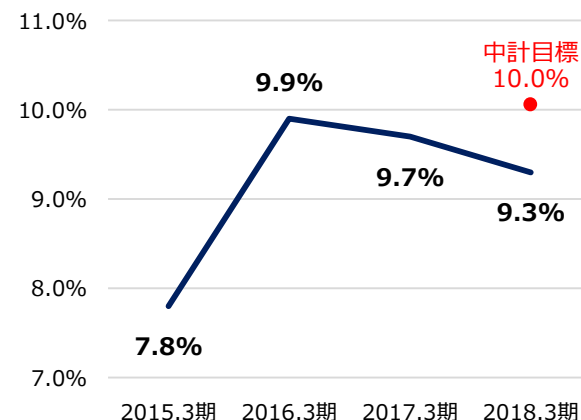
売上高



経常利益・経常利益率



ROE

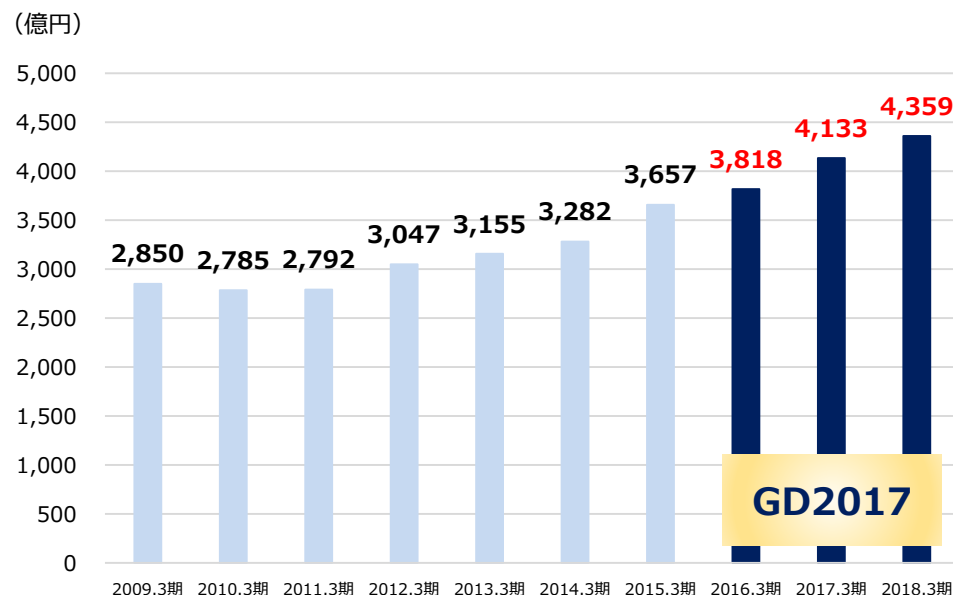


1. GD2017の総括

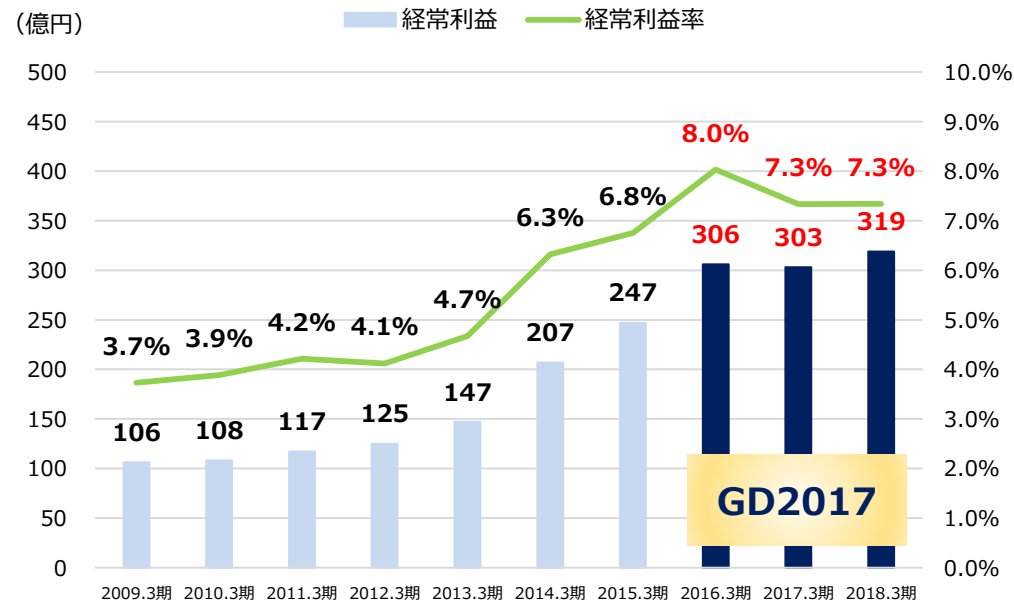
業績推移（過去10カ年）

■ GD2017期間において、目標未達成ながらも、**順調に成長軌道を進行中**

売上高



経常利益・経常利益率



【GD2017期間中の環境変化】

人手不足の深刻化

※有効求人倍率

全職種 1.16倍 → 1.59倍
保安 4.76倍 → 7.37倍
(2015年3月) (2018年3月)

マイナス金利政策の導入

※2016年2月よりマイナス金利政策が開始

10年国債利回り 0.378% → 0.043%
(2015.4.1) (2018.3.30)

2 経営環境とALSOKグループの対応

2. 経営環境とALSOKグループの対応

内外環境の変化

リスク多様化

- 地政学的リスク
- テロの脅威
- 気候変動（異常気象、自然災害）

日本社会の構造的課題

- 少子高齢化、人口減少
- 働き方改革、人づくり革命
- 首都圏集中、地方の過疎化
- インフラ、施設等の老朽化
- 震災復興

技術革新等

- AI、IoT、ビッグデータ、ロボット
- Fintechの進展
- 生産性革命（Society5.0）

経営環境の変化

安全・安心ニーズは
引き続き拡大

高齢者市場の拡大

新技術によるセキュリティ市場
のフロンティア拡大

インバウンドの増大

人手不足の激化と採用難

金融機関のビジネスモデル変化

海外セキュリティ市場の拡大

アウトソースニーズの拡大

国土強靱化、施設等の老朽化への対応

地域創生への取り組み

事業拡大の制約要因を克服し、ビジネスチャンスを活かす

新技術の活用

AI

IoT

5G

ロボット

高精細カメラ（4K、8K等）

etc.

生産性の向上

マルチタスク化
（多機能化）

業務効率化

能力・品質向上（教育訓練の充実）

etc.

大会成功へ貢献

ラグビーW杯

東京2020プレ大会

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

etc.

多様化する社会の安全・安心ニーズに応え、グループの持続的成長を実現

3 GD2020 (中期経営計画 : 2018-2020年度)

長期的な発展とGD2020の位置付け

綜警憲章の理念に基づき、
お客様と社会の安全・安心を支える「総合安全安心サービス業」を目指す

グループ売上規模 1兆円を目指しつつ、ポスト2020を見据え、
事業の更なる「進化、深化」と持続的成長を実現するための3か年計画として、
Grand Design 2020 (GD2020) を策定

グループ規模
売上 1兆円程度
利益 1,000億円程度

・更なる「進化」と「深化」
・持続的成長の実現

東京2020大会

ラグビーW杯

東京2020
プレ大会

2021年
ワールドマスターズ
関西

2026年
アジア大会
(愛知開催)

2025年
万国博覧会
(開催地未定)

2026年
冬季五輪
(開催地未定)

・グループ売上高の拡大
・高収益体質への転換

セキュリティ事業の拡大

海外事業の拡大

介護事業の拡大

etc.

2025年
団塊世代が
後期高齢者に

GD2017

GD2020

2015 - 2017年度

2018 - 2020年度

綜警憲章 (経営理念)

我が社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、
お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

GD2020の基本方針

Grand Design 2020 基本方針

- I 多様化する顧客ニーズを背景としたセキュリティ事業等の強化・拡大
- II 警備モデルの高度化と生産性向上
- III 高齢者市場における事業拡大
- IV 人材の安定確保と活躍推進
- V 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応

マーケット別戦略		経営基盤の強化
事業法人	<ul style="list-style-type: none"> ■ アウトソースニーズ取込みも含めたソリューションビジネスの拡充 ■ 「警備+設備」モデルの更なる拡大 (警備も設備もALSOK) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 警備モデルの高度化 ■ 生産性向上 (1人あたりの付加価値向上) ■ 人材の安定確保とダイバーシティの推進 ■ 専門性の高い人材の育成
公共法人		
金融法人		
個人	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人から施設までシームレスな商品・サービスの提供 ■ 高齢者市場でのビジネス拡大 	<h3>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応</h3>
海外	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外事業の拡大加速 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大会警備の一翼を担い、大会成功に貢献

GD2020の基本方針

I 多様化する顧客ニーズを背景とした セキュリティ事業等の強化・拡大

I 多様化する顧客ニーズを背景としたセキュリティ事業等の強化・拡大

■ 多様化する顧客ニーズへの対応

内外環境の変化

テロの脅威

自然災害

人手不足

マイナス金利

財政制約拡大

首都圏集中

地方創生

サイバー攻撃

企業法令順守

働き方改革

技術革新

インフラ等の老朽化

震災復興

etc.

マーケット環境の変化

事業法人、金融法人

リスク対応、安全対策の強化

収益構造の転換

アウトソースニーズの拡大

業務運営の効率化

公共法人

公共サービスの運営コスト削減

インフラの更新・維持コスト削減

ソリューションビジネスの拡充

- 高度化する各種ニーズへのソリューション提供

「警備 + 設備」モデルの更なる拡大 (警備も設備もALSOK)

- 建物設備の最適化を追求した包括的サービスの提供

I 多様化する顧客ニーズを背景としたセキュリティ事業等の強化・拡大

■ 個々人の安全安心に関わる様々な商品・サービスをシームレスに提供

個人から施設まで

高齢者の安全安心



女性の安全安心



子どもの安全安心



家屋の安全安心



屋内での安全安心



- みまもり
- 緊急通報、健康相談



- 簡易ホームセキュリティ



- ホームセキュリティ



- 賃貸住宅向けセキュリティ



etc.

屋外での安全安心



- 徘徊感知



- モバイルセキュリティ



etc.

シームレスな商品・サービス提供の拡充

I 多様化する顧客ニーズを背景としたセキュリティ事業等の強化・拡大

■ 海外事業を大幅に強化 → ALSOKブランドの海外展開を拡大



事業拡大

現地法人の事業ポートフォリオの変革

大型PJ

現地の大型開発プロジェクトへの取組強化

体制強化

事業体制の強化 (経営資源の投下)

現状

日系企業が中心

常駐警備が中心

目指す姿

日系企業

+

非日系企業

常駐
警備

+

機械
警備

+

綜管
防災

**当面の目標として、
売上規模100億円程度
を目指す**

GD2020の基本方針

Ⅱ 警備モデルの高度化と生産性向上

II 警備モデルの高度化と生産性向上

■ 多様化・高度化するニーズ、人手不足等を見据え、ビジネスモデルの変革を推進

お客様ニーズの
多様化・高度化

人手不足への対応

急速な技術革新

未然防止型サービスの実現

- ・「AI」を活用した異常の予兆検知と減災・防災の実現
- ・被害の拡大防止から、未然防止へ

巧妙化する犯罪への対応

- ・「AI」を活用した不審行動の認識
- ・万引き、特殊詐欺、サイバー犯罪等、
巧妙化する犯罪やテロ等への対応

ロボットの高機能化

- ・センサーの機能拡大、屋外対応
- ・人的な対応が困難な場面での救助、消火、探索、誘導

都市空間セキュリティの実現

- ・AI、5G、高精細カメラを駆使し、都市空間を監視
- ・火災、通行車両の状況、不審ドローン等を検知

etc.

Ⅱ 警備モデルの高度化と生産性向上

■ ICT等新技術の活用、マルチタスク化等により、1人あたり付加価値を向上

運用部門

機械警備



常駐警備



総合管理・防災



警備輸送



管理部門

営業部門

開発部門

ICT等の
新技術活用

マルチタスク化
(多機能化)

業務効率化

能力・品質向上
(教育訓練)

生産性向上により、1人あたり付加価値を向上

GD2020の基本方針

Ⅲ 高齢者市場における事業拡大

Ⅲ 高齢者市場における事業拡大

■ 介護事業を拡大し、1つの大きな事業の柱へ

ALSOKの介護

HCM

ALSOKあんしん
ケアサポート

ウイズネット

多様なお客様ニーズに対応した最適な介護サービスを提供

在宅（居宅系サービス）

居宅介護支援

訪問介護

訪問看護

デイ
サービス

ショート
ステイ

福祉用具、住宅改修等

施設

グループ
ホーム

有料老人
ホーム

事業拡大

首都圏エリアを中心に事業拡大

効率向上

効率運営により収益力改善

差別化

「ALSOKの介護」として差別化推進

**当面の目標として、
売上規模400億円程度
を目指す**

Ⅲ 高齢者市場における事業拡大

■ 高齢者向けサービスの更なる拡大 → セキュリティ事業と介護事業の連携強化

高齢者見守り事業の進展

- 高齢者見守りサービスを展開
緊急通報システムで協働する自治体数：474自治体
※2018年3月末時点
- 全国10の自治体と連携し、
地域の見守りネットワーク構築に向けた実証実験を推進

介護事業の安全安心への取組み

- 警備会社が行う介護事業として、
安全安心を最優先とした取組みを推進

健康相談ニーズ

介護保険外ニーズ

在宅介護ニーズ

施設介護ニーズ

警備の領域

連携強化

介護の領域

連携

医療・健康関連
の領域

各種ニーズに応えた高齢者向けサービスの拡充

GD2020の基本方針

IV 人材の安定確保と活躍推進

IV 人材の安定確保と活躍推進

人材の安定確保とダイバーシティの推進

- 採用強化 (新卒、通年、キャリア人材等)
- 多様な人材の活躍を推進 (女性、シニア人材等)
- ワークライフバランスの推進
(年次有給休暇の計画的付与等)

働き方改革アクションプラン

- 長時間労働の是正
所定外勤務時間を5%削減
- 年次有給休暇の取得
年次有給休暇取得率を10%向上
- 柔軟な働き方の促進
女性社員数を5%増加

※対象は単体

専門性の高い人材の育成

- ICTを活用した先進的な教育手法の徹底 等

GD2020の基本方針

V 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応

V 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会警備共同企業体の共同代表として、
「安全・安心」な大会の実現に貢献



東京2020オフィシャルパートナー(セキュリティサービス&プランニング)



【東京2020大会警備JV】
・設立日 平成30年4月3日
・組織体制 理事会社14社
(うち共同代表2社)

ALSOKは、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のオフィシャルパートナーです

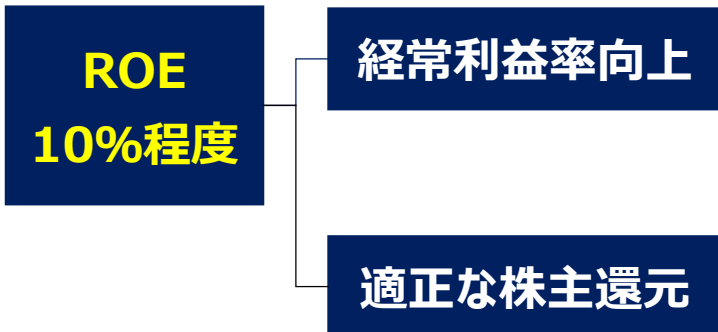
ALSOKは、創業者が1964年の東京オリンピック競技大会において、大会運営に深く関わったことをきっかけに、「お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす」ことを経営理念として翌1965年に創業し、多くのお客様に支えられて今日まで成長してまいりました。今回の東京2020大会は、その恩返しとして位置づけ、東京2020大会警備JVの共同代表としてしっかりとした役割を果たすとともに、業界一丸となって「安全・安心」な大会の実現に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。

財務目標

	実績 (2018年3月期)	目標値 ※ (2021年3月期)
連結売上高	4,359億円	5,000億円程度
連結経常利益	319億円	400億円程度
連結経常利益率	7.3%	8.0%程度
ROE	9.3%	10.0%程度

※目標値には、東京2020大会関連の売上・利益を見込んでおりません。

ROE向上に向けた戦略の位置づけ



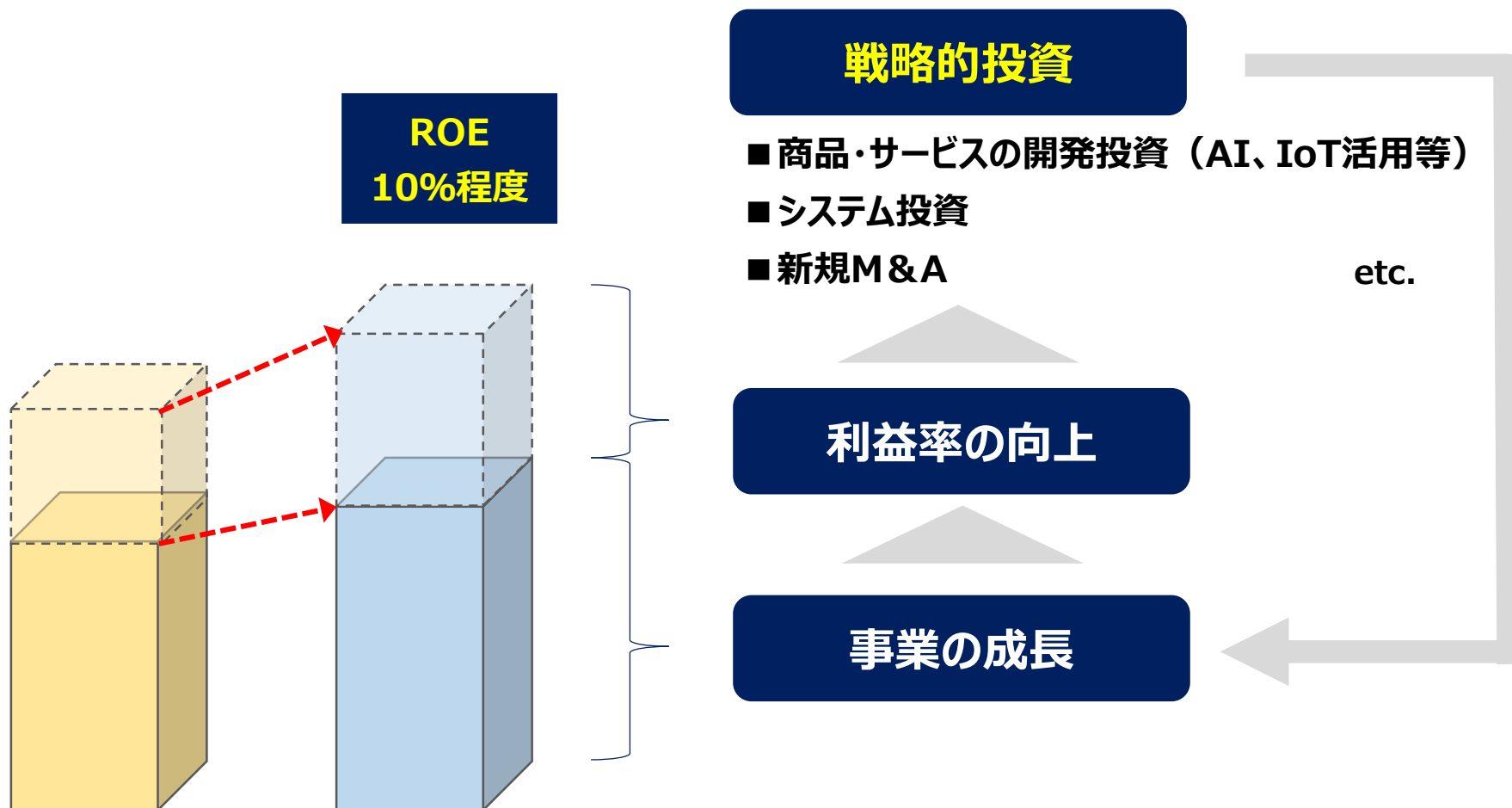
GD2020基本方針

- I 多様化する顧客ニーズを背景としたセキュリティ事業等の強化・拡大
- II 警備モデルの高度化と生産性向上
- III 高齢者市場における事業拡大
- IV 人材の安定確保と活躍推進
- V 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応

配当性向30%を目安に安定配当を維持

投資方針

- 利益の拡大によりキャッシュを生み出し、戦略的投資による事業の成長を加速させ、安定した財務基盤を維持しつつROEの向上を図る



4 持続的な企業価値向上に向けた取り組み

4. 持続的な企業価値向上に向けた取り組み

コーポレートガバナンス・コードへの対応

持続的成長の実現

株主の権利
平等性の確保

株主との
対話の実施

コーポレート
ガバナンス・
コードの遵守

株主以外の
ステークホルダー
との適切な協働

取締役会等の
責務の遂行

適切な情報開示と
透明性の確保

綜警憲章（経営理念）

我が社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、
お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

4. 持続的な企業価値向上に向けた取り組み

CSRにおける4つの重要テーマとSDGsとのつながり

お客様と社会の「安全・安心」に貢献し続けるため、事業を通じて社会的課題を解決することで、SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指し、未来を「守る」ための価値を創造していきます

CSRにおける4つの重要テーマ

社会的課題の解決に貢献する
商品・サービスの提供

人材育成と
働きやすい職場づくり

積極的なコミュニケーションによる
地域社会への貢献

信頼される警備サービス

SDGsとのつながり



【外部機関からの評価】



社会的責任投資指標「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に10年連続で選定されています。



ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されています。



2017 Constituent
MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

ESG投資指数「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に選定されています。

**ALSOKは、
安全安心を支える社会インフラの一翼を担い、
これからも社会の持続的な発展に貢献します**

